初心者向け模擬国連マニュアル
～模擬国連の流れについて～

模擬国連とは

模擬国連とは、参加者が各国の大使（外交官）になりきり、実際の国連の会議や国際会議を模擬する活動です。会議ごとに議題が設定されており、人権や軍縮、経済、環境、紛争など多岐にわたる国際問題が取り上げられます。会議では、参加者自身の考え・立場ではなくそれぞれ国益を背負った各国大使という立場から、作り上げた政策を軸に決議をはじめとした会議における結果を追い求め、議論や交渉、スピーチ等を行います。

事前準備

会議に向けた準備の第一段階として、まずは議題および担当国について情報を集めます（この準備を、模擬国連では「リサーチ」と呼びます）。議題と担当国が決定したあと、会議当日までに大使が取り組むべきことは主に2つあります。

01 BGの熟読

まずは「BG(Background Guide)」とよばれる、会議フロントから配られる議題概説書を読みましょう。BGでは名前のとおり、議題の基本情報が書かれており、会議に関する様々なヒントが散りばめられています。
・これまでにどのような議論がなされてきたか
・論点に関して特に何が問題なのか
・論点についてどのような意見・主張が存在しているか
などBGの内容をしっかり読み解くことで、それを起点として何に関するリサーチを深めるべきかが明らかになるでしょう。

またBGに記載がある決議や報告書、または引用されている参考文献は、重要な情報に直結していることが多く、調べる価値、一読の価値があるといえます。

02 PPP、NPの作成

「PPP(Position and Policy Paper)」とは、議題や担当国に関する情報、戦略、国益などについてまとめるワークシートのことです。その会議で最低限調べてほしい情報のリストが掲載されており、PPPを埋めていくうちに、自然と必要な情報を入手できます。

また、「NP(Negotiation Paper)」とは、担当国のスタンスや政策について一枚にまとめたシートのことです。

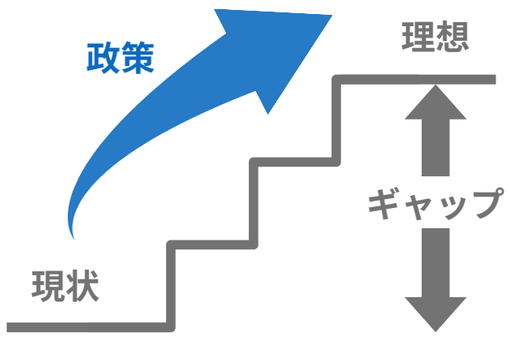
PPP、NPともに会議前の指定された期日までに作成し、提出します。またNPに関しては、会議前に他国の大使にも公開されます。NPが公開されたら他国が掲げる政策を理解しましょう。

余裕があれば他の国の状況も自国と同様に調べてもよいでしょう。周辺国、協力できる国、対立しそうな国・議場の軸になりそうな国などについては、立場の相違について把握しておくことが望ましいといえます。

03 政策立案

大使であるみなさんは、担当国の立場から議題に関する利益を得る必要があります。利益を得るとは、議題に対する担当国の理想と現実のギャップを埋めて、少しでも現実を理想に近づけることです。理想と現実を埋める手段が、政策ということになります(右図参照)。

また、「担当国にとって、何が達成したい最大の利益(トップライン)で、何が最低限確保しなければならない利益(ボトムライン)なのか」という視点も大切になります。実際の交渉に臨む際、より多くの交渉主体が納得できる終着点を見出すためのヒントになるでしょう。



04 決議案作成

模擬国連会議では、議論の結果を「決議」として採択することが目指すべき一つの着地点となります。会議に臨むにあたっては、自国の政策を決議案に載せるための「文言(もんごん：実際の決議案となる文)」を準備しておくことが求められます。決議案は、会議監督から配布される所定のフォーマット上で、定められた書式に則って作成します。予め確認しておきましょう。

Global Classrooms®
Learn. Live. Lead.

会議の流れ

01

会議の開会
議長の宣告を受けて会議が開かれます。

02

出欠確認
議長が各国の国名を順に呼びます。大使は「Yes.」もしくは「Yes, present.」と返答します。

03

議題採択
予め設定されている議題を話し合うことに、そもそも反対の大使がいないか確認します。

04

発言国登録
スピーチを行いたい国を議長が募り、発言者リスト(スピーカーズリスト)に国名を載せます。

05

討議
討議には公式討議と非公式討議の 2 種類があり、交互に繰り返されて会議が進みます。

公式討議

公式発言（スピーチ）を行う討議です。議長は、スピーカーズリストに掲載されている順にスピーチを回します。議長に指名された国は、指定時間内でスピーチを行います。

非公式討議

非公式討議には 2 種類のスタイルがあります。どちらの討議を実施するかは、大使の提案と投票によって決定されます。

着席討議／モデ

いわゆる「学級会形式」で、発言を希望する大使は議長の進行にしたがって、指定されたトピックに関する主張を、着席したままの状態で簡潔に述べます。

非着席討議／アンモデ

各自、議場内を自由に移動し、交渉したい他国大使のもとへ行って（あるいは他国大使を集めて）議論できます。この間に決議案（DR）を作成し、指定された締切時間までに提出します。グループを作って決議案を作成したり、グループ内外での交渉を行ったり、自由に時間を使います。

06

投票行動
提出された決議案への投票を行います。
全大使が順番に賛成／反対／棄権を投票し、必要賛成数を得た決議案は正式な決議として採択されます。

07

会期の終了
議長の宣告を受けて閉会します。

準備から会議行動までのより詳しい解説は、弊協会ホームページよりご覧いただけます：https://jcgc-mun.org/

Global Classrooms®
Learn. Live. Lead.